

科目名		品質・安全マネジメント特論				英文表記		Advanced Lecture on Quality and Safe Management		2015/2/28	
科目コード		6017									
教員名：富澤淳、杉本和英、正木忠勝、三枝隆裕										作成	
技術職員名：なし											
対象学科／専攻コース						学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全コース						専2	選	学修	1単位	講義	後期
科目目標		①工業製品の品質及び安全に関する基本的な考え方を学ぶ。(機A-2、情A-2、メA-1、C-2、生A-2) ②製造における品質及び安全マネジメントの重要性、並びに製造責任や倫理観について理解する。(機A-2、C-2、情A-2、C-2、メA-1、C-2、生A-2、C-1)									
総合評価		製品安全、ものづくり、食品、ソフトウェアの各分野について、品質・安全に関する課題レポートにて理解度を見る。(各25%)									
科目目標達成度とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)				達成度目標の評価方法		ルーブリック			
								理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック
	70%	① 各種工業製品の品質管理に関する知識を身につけ、定量的に記述・解析することができる(機A-2、情A-2、メA-1、C-2、生A-2)				正しく理解し、身につけているかレポートで評価する。		授業で学習した内容と関連付けながら、ISO9001シリーズ、UL等の製品安全規格の概要について、それらの要点を説明できる。	教材・参考図書等に従い、ISO9001シリーズ、UL等の製品安全規格の概要について、その要点を多角的に説明できる。	講義資料・参考図書等を参照しながら、ISO9001シリーズ、UL等の製品安全規格の概要について説明できる。	
	30%	② 製品安全に関する知識を身につけ、定量的に記述・解析することができる(機A-2、C-2、情A-2、C-2、メA-1、C-2、生A-2、C-1)				正しく理解し、身につけているかレポートで評価する。		授業で学習した内容と関連付けながら、品質・安全管理に関する手法について、それらの要点を説明できる。	教材・参考図書等に従い、品質・安全管理に関する手法について、その要点を多角的に説明できる。	講義資料・参考図書等を参照しながら、品質・安全管理に関する手法について基本的な用語や考え方を説明できる。	
本科・専攻科教育目標		1	2	3	4	JABEEプログラム名称		機械システム	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
		○			◎	JABEEプログラム教育目標		A-2、C-2	A-2、C-2	A-1、C-2	A-2、C-1
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合											
		目標との関連		定期試験	小テスト	レポート	その他(講習課題・発表・実技・成果物等)		総合評価	セルフチェック	
評価項目				0	0	100	0		100		
基礎的理解		①②				50			50		
応用力(実践・専門・融合)		①②				30			30		
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)		①②				10			10		
主体的・継続的学修意欲		①②				10			10		
授業概要、方針、履修上の注意		各コース分野に関わりの深い工業製品を題材に、各コースの担当教員がオムニバス形式で講義をおこなう。									
教科書・教材		教員自作プリント及びパワーポイント									

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末	期末試験	[2]			
16	ガイダンス・品質規格の基	1	ISO9001シリーズの基本的考え方と概要		
17	製品安全規格(航)	1	UL等の製品安全規格とその概要	先週の講義内容・問題復習	
18	ものづくりの現場(航)	4	ものづくりの現場における品質・安全管理	先週の講義内容・問題復習	
19	食品分野	2	食品偽装問題を例に、食品の品質や安全に対する企業側の視点	先週の講義内容・問題復習	
20	食品分野	2	食品事故・偽装問題を例に、食品の品質や安全に対	先週の講義内容・問題復習	
21	ソフトウェア分野Ⅰ	2	ソフトウェアに関連した、品質・安全管理に対する企	先週の講義内容・問題復習	
22	ソフトウェア分野Ⅱ	2	ソフトウェア開発における品質管理手法	先週の講義内容・問題復習	
23	課題演習	1	各コースに対応した課題と演習	各産業分野別の内容の整理と復習	
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		15	実時間	11.25	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	レポート(その週の講義内容に沿った内容についてレポートを課す。)			各2時間×7回	
②	レポート(演習に関するレポートを課す。)			1時間	
				計15時間	
備考欄					
(共通記述)					
・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。					
(各科目個別記述)					
・ この科目の主たる関連科目:産業創造セミナー(3年)、技術者倫理(5年)					
その他必要事項は各コースで決める。					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分＝1、90分＝2)